

OUJ神奈川学習センター あきだより

通巻第44号

2010年11月13日発行

発行:放送大学神奈川学習センター

〒232-0061横浜市南区大岡2-31-1

目次:

「植物からの情報を キャッチしよう」セミ ナーを開催して 藤原 一繪 客員教授	2
学習センターニュー ス(入学者の集い/ 卒業式)	3
学習センター祭 フェスタ・ヨコハマ (フェスタ・ヨコハマの 一日/フェスタに参 加して/写真集)	4 ~ 5
大岡川の野生に 親しむ集い	5
学生生活に関する アンケート	6 ~ 8
学生投稿 (「新学期」)	8
K-サポートからの お知らせ	9
学生サークルからの お知らせ/同窓会 からのお知らせ	10 ~ 11
学習センターからの お知らせ	12



学習センターの庭に咲くムクゲ (撮影:渡邊慎介所長 5面に関連記事)

「植物からの情報をキャッチしよう」セミナーを開催して 客員教授 藤原 一繪

「放送大学でセミナーを担当してください。」と渡邊慎介所長にいわれた際、さて、どのようにセミナーを運営しようかと考えました。今までは横浜国立大学で大学院の修士や博士の、比較的若い学生を対象に、研究発表と英文論文の輪読形式のセミナーを行っておりました。放送大学では、専門も年も異なる方々の集まり、勝手がつかめません。放送大学でのセミナーはどのようなものか、原田順子先生にうかがってみました。原田先生いわく、「いろいろな形式がありますよ。私は勤めている方が多いので、日曜にしています。ある先生は、セミナー後毎回懇親会をされています。」とのこと。



今回はセミナー参加者が3人とうかがっています。では、最初に受講者がどのようなセミナーを望んでいるか、希望を聞いてからはじめましょうというのが、第1回のセミナーでした。ところが、午後2時半で終わる予定が4時まで話はずんでしまいました。自分の仕事を熱く語り、植物の何を知りたいか。そこで、6月の2回目は、あらかじめ事務室のみなさんに教わっていた弘明寺公園を歩くことにしました。その前に、私の下調べがあります。1時間半でまわれるコースか、どのような話題提供をするかをチェックしなければいけません。グーグルアースで見ると、広い森もみられます。京急弘明寺駅でおり、駅員さんに弘明寺公園への行き方を尋ねると、すぐ裏の駐車場からいけるとのこと。まず、はじめはマント群落。そして、斜面の森林、サクラ並木の足元の裸地、と植物の話題とともに、植生-植物集団が語る言葉を拾い集めました。そして6月10日の当日、3人に、k-サポートお2人、そしてお声をかけ

て集めていただいた仲間をいれ総勢9名になりました。後は伊藤泰史さんがレポート(なつだより6~7ページご参照ください。)していられますが、実は食べられる植物の話は、さしみのつまで、「森林や植生がこわされると、光や風がはいらないように、マント(オーバーコート)の役割をするつる植物が裸地をおおいます。それをマント群落といいます。」という、みどりが発する情報を伝えたかったのですが、一生懸命メモをするみなさんには、食べられる、おいしい植物の話の方が、やはり魅力的だったようです。2時間半もかけて歩いて、すっかり汗ばみましたが、皆さん疲れた様子もありませんでした。

第3回目のセミナーでは、皆さんの発表をパワーポイントにつくる手法をお教えするにしていました。ところが、早めに教室に行ってみましたら、もうすでに6人が集まっていらして、わからない植物の同定を行っていました。遅れてこられた2人も加え、写真を共有し、熱心に情報交換する姿は、この形態のセミナー開催者にとり、ほほえましいものです。皆さんの熱心さに、うれしくなりました。そして、指導する側として勉強になったのは、植生の基盤となる植物の収集の



仕方をしっかりお教えしていなかったことでした。1枚の乾燥した葉で同定することのむずかしさ、対生か互生か、単葉か複葉か、1枚では区別がつかないこともあります。9月の発表会が終えた



ら、10月にはコースを変えて、秋の公園歩きで、季節によるみどりの発信の違いと一緒に、基盤となる植物採集についても説明しよう。心の中で次のセミナーの課題を考えました。本セミナーは学生さんと共に育つことを実感いたしました。



《編集部から》

藤原客員教授のセミナーは、現在、毎月1回開催されています。定員に若干余裕がありますので、参加を希望される方は、学習センター事務室までお申し込みください。

平成22年度第1学期卒業証書・学位記授与式

平成22年第1学期の卒業証書・学位記授与式が、10月3日(日)神奈川学習センター第8講義室で行われました。所定の単位を取得し卒業を迎えられた神奈川学習センター所属生で卒業された109名のうち59名の方が参加され渡邊所長から卒業生一人一人に学位記が手渡されました。玄関ロビーで記念写真を撮影した後、会議室に移動して神奈川同窓会の方々が準備した手づくりの懇親会。渡邊所長、原田准教授と客員の藤原



教授、青木教授、事務職員、同窓会の方々も交えて和気あいあいとした交流の一時、卒業生のみなさんは、お互い卒業まで長い道のりを語り卒業の実感を確かめているようでした。4回目の卒業を迎えたという方、研修旅行やサークルの思い出。ハンディキャップを乗り越え卒業された方や、お仕事との両立をはかりながら10年かかったという方など様々なドラマを垣間見た思いでした。再入学や進学を目指す方も多く次の目標を胸に懐きつつ帰路につきました。



生活と福祉



心理と教育／発達と教育

社会と産業／社会と経済
産業と技術

人間と文化／人間の探究



自然と環境／自然の理解

入学者の集い

平成22年度第2期「入学者の集い」が、10月3日(日)午前10時から神奈川学習センター第8講義室で厳粛に行われた。当日、入学を許可された者のうち180数名が出席し、学習意欲に燃える学生が改めて襟を正した。渡邊所長の挨拶や教職員の紹介があり、入学後直面する問題点についてのガイド



ンスが教務係長から「学生生活の栞」の基づいて、必要な箇所を抜粋のうえ詳細な説明があった。オリエンテーションの後、在校生・卒業生による各種サークル10団体による紹介等があつて、感謝のうちに式典は終了した。なお、事務室とK-サポーターによるアンケート用紙各々配布され終了後、回収された。



フェスタ・ヨコハマの一日 大田 豊實

9月5日、フェスタの記念講演会・三宅晶子先生の「幽玄の系譜」の講義を聞いた。日本の文化を幽玄という言葉で鍵にビデオを交え話された。

長谷川等伯の松林図屏風は墨の濃淡で松を描いたものだが、実はこの絵の眼目は松ではなく、松の林の中を漂っている霧の気配であり、「霧」といえば「秋」と思うのが日本人の感性であると。水墨画の本家、中国の「清明上河図」は緻密な都市の絵画で、空間を圧縮したかのような迫力がある。一方霧や雲といった自然を余白に構成して情感のある風景とした日本の絵画。文化の質の違いが明らかであった。能の道成寺と歌舞伎の娘道成寺の比較も楽しめた。能の道成寺はダイナミックだ。白拍子が鐘に飛び込む瞬間の緊迫感、鐘に籠もった蛇を調伏するために僧達が祈祷する場合の迫力は素晴らしい。歌舞伎で娘道成寺を踊るのは阪東玉三郎。とても美しい。くるくると衣装も持ち物も変化するので目が楽しい。動の華やかさがある。江戸の町人が歌舞伎見物に熱中したのも解る気がした。

難しい幽玄という言葉から日本特有の文化をわかりやすく知る事ができた講義だった。



午後には交流会。

交流会には縁日のような楽しさがある。喋っては飲み、飲んででは食べ、会場は解放感に浸っている。そして最後はビンゴで盛り上がった。

今年は幸運にもお茶席に伺うことができた。お茶席は掛軸も活け花も、早や秋のたたずまいだった。一服のお茶の味。お点前の手の動きの美しさ。慌しい現実を追われてどこかに置き忘れてきたもの一心のゆとりや情感を改めて認識したフェスタの一日だった。



最後に、記録破りの猛暑の中、楽しいフェスタを作って下さったサークル協議会・参加団体の皆様、本当にどうもありがとうございました。お陰様で頭の中も胃袋も満腹・充足の一日となりました。

フェスタに参加して 人間と文化 宍戸 修一

例年とは違い、今年のフェスタは9月5日に開催された。実は前日にもあったらしいが私はこちらには参加しなかった。ということで、ここからは参加した5日についての感想となることをご承知おき願いたい。

恒例の記念講演は、横国大・三宅晶子教授による幽玄についてのお話であった。普段は見聞きすることの無い幽玄という言葉の響きになんとなく引かれ、聴講したいと思う心がフェスタ参加を決めた原動力となった。

日本歌謡の原点が万葉集であること。それが古今和歌集へと引き継がれ発展開化していったこと。その仕掛けが口伝家伝の形態を採りながらも一方で歌合せという競争の舞台をしつらえて切磋琢磨してきたこと。この中に幽玄の世界表現が広がってきたこと、この難解と思われる幽玄の世界を理解する為に、狂言、能そして歌舞伎の映像を使いビジュアルに分かり易くお話しされたこともあり、話に引きずり込まれたというのが実感でした。



更に印象深かった点を上げるとすると、茶席でのおもてなし。今回はきっと籤を引くぞ〜。また初めて投句に挑戦。季語を入れて17文字の情景描写は難しいと実感。最近テレビで話題の川柳はだめでしょうか。ビンゴはまったくだめ。リーチ段階でゲーム

そのものが終わってしまい笑うしかありません。

最後に、フェスタを企画準備されたサークル協議会の皆様、猛暑の中ご苦勞様でした。



歌声喫茶



第24回
フェスタ・ヨコハマ
写真集



交流
会



お抹茶コーナー



「大岡川の野生に親しむ集い」

神奈川学習センターから歩いて4～5分の弘明寺商店街。その途中で大岡川を渡るのが観音橋です。橋の上からはコイやときどきカモも見られるので市街地で生き物に出会えるいい場所であることは知っていました。

「野生の大岡川」は渡邊センター長が、本年4月から毎週火曜日に神奈川新聞に持たれているコラムで、弘明寺付近の大岡川で撮影した鳥類を中心とした写真とコメントで構成されています。なかには川面を横切るアオダイショウの写真などもあり、連載への反響の多さから、9月18日に神奈川新聞主催で「大岡川の野生に親しむつどい」が開催されました。

まず午後2時から神奈川学習センターにおいて渡邊センター長の講演「大岡川の野生に親しむ」があり、子どもや学生時代に撮影された秘蔵写真のスライドや、紙面には掲載され



ない大岡川の自然についてのエピソードを堪能。中国原産のハッカチョウ(八哥鳥)が大岡川に姿を見せることや、おなじみのスズメが桜の花びら散らして蜜をついばむのは

南関東に限られているらしいことなど、生きものの動きの瞬間を切り取った写真により初めて知りました。

そのあと休憩をはさんで3時過ぎに観音橋に移動し、地元グループ大岡川Fun Clubのご案内で、川に沿って移動しながら水の中のアオサギやカルガモをはじめ岸辺の自然を観察しました。解散間近の4時過ぎには大岡小学校に近い弘岡橋付近でカワセミが姿を見せ、参加者は大岡川Fun Clubのメンバーの方の望遠鏡で「飛ぶ宝石」の存在感を確認して大満足。

余技とは思えないセンター長の写真と生きものへの造詣に接し、大岡川Fun Clubの方の川への愛情あふれる説明をききながら一般申込の参加者の方と交流して「集い」はあっという間にすぎました。「橋と橋の間ぐらいをちょっと寄り道して、自分でももっとよく見てみよう」そんな気持ちを抱いて帰路についたのは私だけではないはずです。

※神奈川新聞2010年9月20日(月)の朝刊20ページに「カワセミに感嘆 大岡川に親しむつどい」が掲載されました。



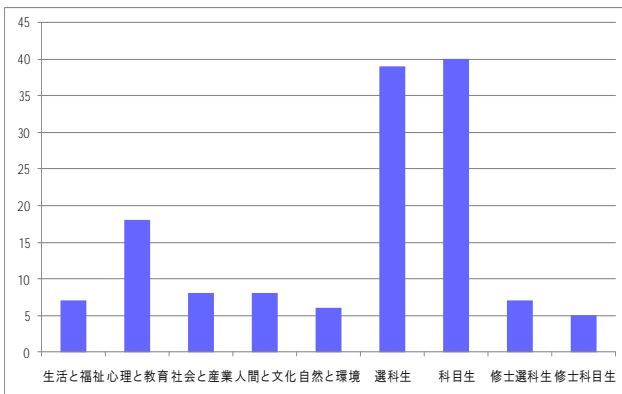
「学生生活に関するアンケート」

Kーサポート機関紙編集チーム

10月3日(日)神奈川学習センターで、2学期の入学者の集いと1学期の卒業式が行われました。式典に参加された、新入生190名と卒業生59名にアンケートをお願いし新入生140名(回収率74%)卒業生59名(同100%)から回答をいただきました。主な集計内容を速報としてご報告します。

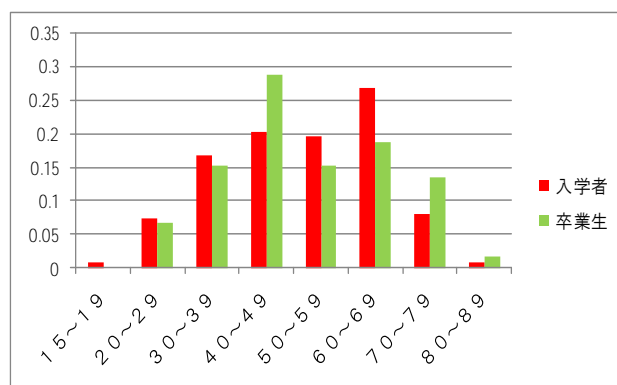
1. 入学生へのアンケート(一部項目は、卒業生のアンケートと比較しています。)

第1問は、学生種別(下図)です。選科生、科目生



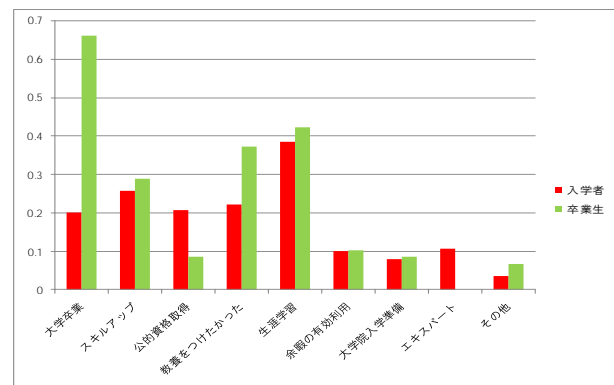
全科生(各コース合わせて)、それぞれ1/3近くを占めています。全科生についてみると、心理と教育コースで飛び抜けて多く全科生の3人に一人を占めています。

つぎに、年齢構成を見ましょう。(下図)10代から80代まで幅広い年代の方がいます。とくに、60代は全体の25%を越えています。次いで、30代、



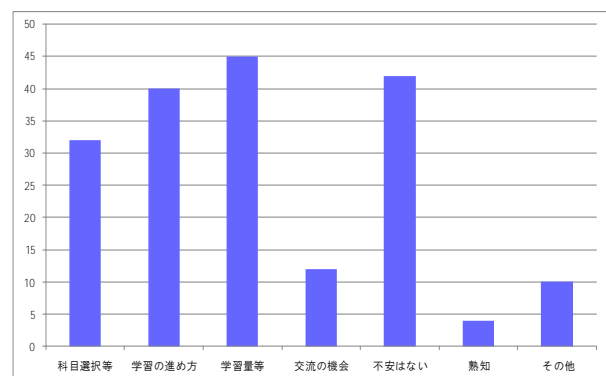
40代、50代がそれぞれ20%近くを占めています。卒業生は、40代が多くなっているのが目立ちます。

入学動機を見てみましょう。(下図)40%の方が生涯学習をあげています。スキルアップ、教



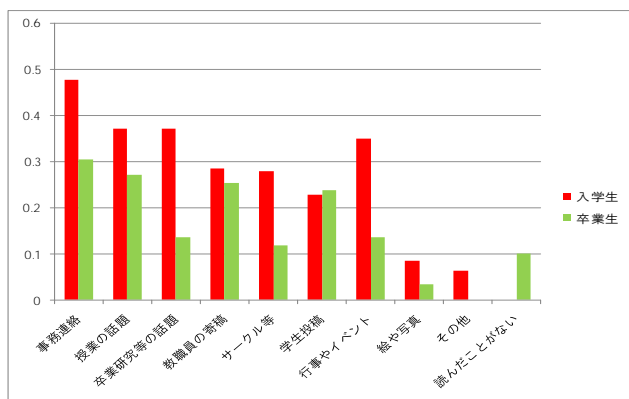
養、公的資格、そして5番目に大学卒業と続きます。卒業生では、60%以上が大学卒業をあげていて、次いで、生涯学習、教養と続きます。卒業生に卒業目的の比率が高いのはもともとですが、教養の比率も高くなっています。一方、公的資格取得の比率が低くなっていて、入学生には公的資格の取得を目指し卒業は目的としていない方含まれていることを示しているようです。

新入生が、どのようなことに不安を感じているかを聞いた質問です。最初の学期で、どれくらいの学習量が必要か?分かるはずはなく、誰もが通る不安を最大多数の方が抱えています。学習の進め方や、科目選択の方法についても多くの方が



悩みを持っていると考えられます。一方で、学生や教職員との交流をあげる方は少なく、放送大学が続かない大きな理由とされている「人との交流のない孤独感」は認識されていないようです。

本誌、学習センターだよりに期待される記事内容(下図)は、事務連絡がトップで、授業や卒業研究生の話題と続く傾向は例年と同じでした。入学者と卒



業生の比較から見ると卒業研究、サークル、行事やイベントの話題で、入学者のニーズと卒業生の受益にギャップが見られました。卒業研究等の記事は、取り上げが少ないことがあると思います。サークルや、イベントの記事は質の向上を図りたいです。

○K-サポートへの要望(自由記入欄)

- ・論文や他大学への編入など体験談が聞きたい。
- ・会社員へ一日の時間の使い方の助言がほしい。
- ・大学院入学に向けての勉強方法、科目の選択
- ・単位取得や単位認定試験へのアドバイス。
- ・ITに関する勉強会
- ・学習の支援例をセンターだよりに掲載してほしい。
- ・就職相談～知識を仕事につなげられる支援
- ・バス研修旅行を年2回以上してほしい
- ・面接授業の科目選び卒研の準備を教えてください。

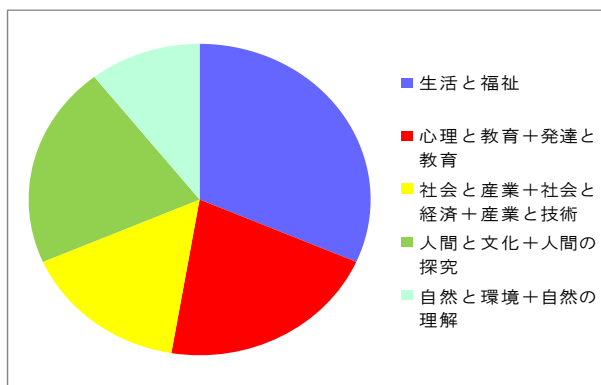
○大学、サークル、その他(自由記入欄)

- ・ネット配信を増やしてほしい
- ・働きながら、工学系の勉強ができるところがほしい。
- ・メールでの問い合わせへの対応
- ・図書館直通の問い合わせ窓口
- ・ガイダンスを院と学部に分けてほしい
- ・科目登録に対する詳細な説明がほしい

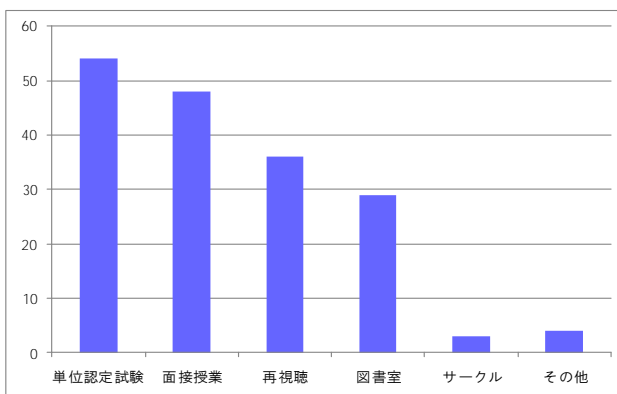
- ・学習施設が整っていて学習には充分
- ・放送番組のインデックスに第何回という表示を入れてほしい。
- ・サークル活動は、よいことだと思います。
- ・語学関係のサークルに興味がある。
- ・サークルがあることに驚きました。
- ・3分と時間が決まっていてとても聞きやすかった。

2. 卒業生へのアンケート

所属コース(専攻)は、生活と福祉が一番多く1/3を越える。続いて教育と心理(旧発達と教育)人間と文化(人間の探究)と続く。(下図) 全体の55%が新要件での卒業だった。

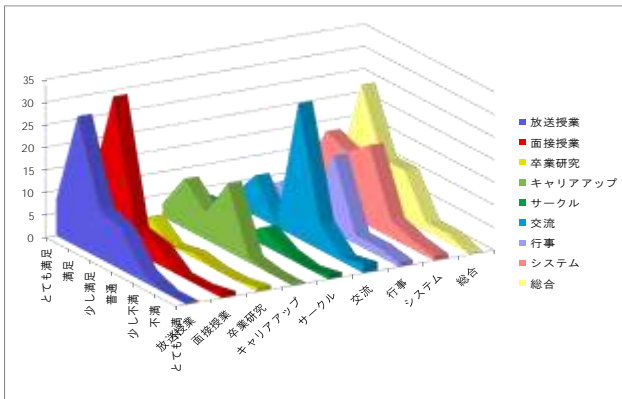


学習センターの利用については、単位認定試験での利用者が90%超だったほか、面接授業80%再視聴60%図書室50%と学習での利用度はかなり高い。(下図)一方、サークル参加は5%にとどまっている。



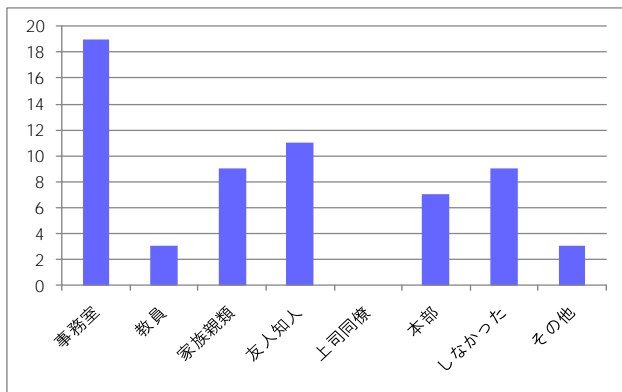
次に、卒業生が放送大学の授業やシステムと、放送大学での交流についてどのように感じているか、

9項目で満足度を伺ってみました。(下図)



面接授業、放送授業と授業に対する満足度がとても高いのが印象的です。他の項目については、高い評価とそうでない評価が2極に分かれる傾向があります。学生・教職員との交流、行事、キャリアアップ、サークルについては、満足度の低い層も多くなっています。また、卒業研究、サークルについては、登録(参加)されていない、無回答が多くなっています。

困ったときに誰に相談したか？(下図)の問いに



(K-サポートは除く)は、大学事務室に聞いた方が多く、他に、友知人、家族、大学本部に電話と続きますが、誰にも相談しなかった方が15%くらいいます。

バス研修へのご意見

- ・名所旧跡歴史上の関係のある場所の見学。
- ・定員超過で参加できなかった。定員増を望む。
- ・後になって知ったので、告知を工夫してほしい。

自由記入欄

- ・専攻からコースへ変更したために卒業が延びた。制度変更のときは、学生への周知徹底を望む。
- ・講師の選定には、更なる努力をしてほしい。
- ・ラジオ科目もテープの貸し出しを行ってほしい。
- ・先生・学生間の交流の機会を多くしてほしい。
- ・沖縄の食生活の遠隔授業がよかった。卒業研究を取る前に卒業になってしまったのが残念。
- ・他センターから移ってきた。神奈川の図書室と視聴室の職員が非常に親切だったのが良かった。
- ・学習相談は今後も継続を願います。
- ・年々学生へのサービスが向上していると思う。
- ・面接授業で出会った学生さんとの会話や、いろいろな人生を知ることが出来とても有意義でした。
- ・ラストで残り単位数の助言を得て目標が見えた。
- ・家族の協力があった卒業できました。多くの方と交流が出来なかったのが残念。
- ・在学中に結婚・出産などあったが、自分のペースで学習できた。大学院を目指したい。

新学期

十月一日

今日は新学期

誰が何と言つても

誰に何を言われても

今日から新学期

この日のために生きてきた。

この日のために耐えてきた。

だから誰にもゆずれない。

誰の邪魔もさせない。

佐々木健充

十月一日

今日が新学期

誰が何と言つたつて新学期

誰に何を言われても新学期

邪魔はさせない

僕は方便を使う

僕には意志がある

方便は嘘とは違う

誰にだつてあるはず

大切なもの

大切なこと

僕には意志がある

僕は方便を使う

だつて今日から新学期なんだ！

誰にだつてあるはず

新鮮な気持ち

新鮮な空気

十月一日

今日は新学期

僕と君の新学期

Kーサポートからのお知らせ

○学習支援チーム

今学期の**学習相談会、只今開催中。12月19日までの土曜日と日曜日、午後1時から4時の間に、2階談話室の相談コーナー**にお越しください。予約は不要です。

放送大学での学習に関して困っている点に限らせていただきますが、まずは気軽に何でも相談にきてください。

11月下旬に提出する「通信指導」について、学習相談会で助言・指導します。ただし、授業科目の分野が広いことを考えると直接解答をお教えすることは不可能なことをご理解ください。



○サポーター募集しています。

Kーサポート事務局は年間を通じて、活動に参加するサポーターの登録を受け付けております。応募資格は、神奈川学習センター所属の学生・大学院生、および卒業生・修了生であることです。放送大学で学んだ事や社会での経験を生かして、他の学生や神奈川学習センターを支援する活動に取り組んでみませんか？「活動を通して友人が増えた」という方が多いようです。お問い合わせやご応募はE-mail:ksupport@ouj.ac.jp（事務室に備え付けの登録用紙でも応募できます）までどうぞ。

【新人サポーターの感想】

参加する為に学校に行くようになり、何もわからなかったのですがいろいろな人から学校の役立つ情報を得ることができるようになりました。和気あいあいと楽しくお話しして過ごすことが出来る雰囲気があり良いと思います。

投稿募集

学習センターだよりでは、みなさまの投稿をお待ちしています。分野は問いませんが、放送大学の学生にとって興味のもてる話題が好ましいです。ご投稿いただいてから、掲載時期や掲載方法についてご相談させていただくことがありますのでご了承ください。宛先は、電子メール:ksupport@ouj.ac.jp (Kーサポート事務局) または、神奈川学習センター事務室まで。

編集後記

改訂した学生生活に関するアンケートを速報で掲載しました。また、久しぶりの投稿、佐々木健充さんの「新学期」。右のカット絵は、よーこさんに描いていただきました。みなさま、ありがとうございます。

私の不手際で、発行が約2週間遅れましたことをお詫びいたします。(H)



OUJ神奈川学習センターだより編集部

笠井、赤松、家田、木下、入江、津村、笹崎
(以上、Kーサポート機関紙編集チーム)
垣谷(Kーサポート事務局)
石塚(学習センター事務室)

学生サークルからのお知らせ

○神奈川放友会

神奈川放友会の設立理念
放送大学に向学という同じ志をもつ学生が集い、孤独になりがちな学習に人間的交流を加え、豊かで実りある学生生活を共有することを目的とする。この理念にある通り多彩な人材が集っています。

★旅に行こう会:11月21日→紅葉の奥多摩と小澤酒造見学

★忘年会:12月19日→学芸会もあります。
ホームページ→<http://kanagawa-hoyukai.jp/>
文書責任者 神奈川放友会 金田 保男

○中国語学習会

☆学習日:第一、第三日曜日

☆学習時間:10時~12時 中級(王励老師)
13時~15時 初級(楊雪老師)

我が国の文化、言語などに影響を与えた国、近くて少し距離感のある国、難しいことはさておき純粋に中国語を楽しんでいます。学習日にぜひ見学にいらしてください。

☆連絡:万場(まんば)由美子
(046-293-5521)

○放大かながわレク・サークル

★パソコン部:個人のニーズに応じた学習。

学習日時:第1、第3水曜日 13時30分~15時30分。

場所:神奈川学習センター 実習室:申込制

★ウォーキング部:月1回、「東海道五十三次」実施中。名所旧跡文化施設等も対象

★ウォークラリー:横浜市中区主催に毎年参加

★その他観劇、観光、映画、美術鑑賞等。

上記の各種活動はいずれも自由参加。

—会員募集中(随時申込・受付)—

問合せ:佐々木恭夫Tel/Fax045-871-7700

E-mail ugk37913@nifty.com

○うえるかむKanagawa

英語を楽しく学びながら、それぞれの趣味や特技を活かし“コミュニケーションの輪”を広げています!

*例会は毎月第2、第4水曜日(例外あり)午前中はカリフォルニア大学出身のRichardとの英会話。

午後にはEnglish songsの練習とGroup study。

*11月10日(水)午後1時より「うえるかむ名画座」(映画上映)。どなたでもご参加いただけます。

*11月18・19日は箱根合宿(紅葉狩、温泉、懇親)12月には忘年会も予定しています。

*活動の様子はホームページでご覧いただけます。
<http://welcome-kanagawa.jimdo.com/>

*問い合わせ 星 reikosunflower@yahoo.co.jp
045-844-9647 (小野記)

○人間学研究会

1. 例会の予定(いずれも午後1時開会)お問い合わせ・参加申し込み:安田武夫TEL045-775-0879

11月13日(土)「脳血管症患者の社会復帰に向けてのリハビリについて」

12月12日(日)「江戸を拾う」

1月 8日(土)「イラン歴史紀行」

2. 歩きましょう

(お問合せ:大出鍋蔵 TEL046-841-7937)

11月7日~17日

「カンチェンジュンガ展望トレッキング」

11月23日「第4回鎌倉の碑ウオーク」

1月1日「元旦ウオーク」

○韓国語同好会

月例会;毎月第一・第三土曜日10:00~12:00
13:00~15:00

※午前、通常学習

講師:横浜国大研究員 金蘭美先生

※午後、初歩の韓国語・自主学習

※ホームページご覧ください。投稿自由!

ホームページ <http://www.hangugo-club.org>

連絡先 murata@hangugo-club.org

電話/Fax 045-864-6551(村田)

○ダンスサークル（社交ダンス）

レッスン日 毎月第2第4火曜日
 時間 午後2時～4時まで
 場所 第7講義室 当日入り口に掲示
 内容 初歩的なステップより指導
 （ブルース、ワルツ、ルンバ、ジルバ等）
 体育実技の単位取得可能です
 親睦旅行やパーティを実施してます
 何時でも入会出来ます。
 連絡先 TEL045-933-9753 宮川 京

○神奈川合唱団

NHKホールで歌いましょう。
 ☆3月卒業式に向け（NHKホール）学歌練習に力を入れ指導を受けています。（参加者募集）一緒に歌いましょう。
 ☆11月27日（土） “うたごえ喫茶”
 午後1時30分～午後3時、神奈川学習センターにて 参加自由（歌いたい方）
 ☆合唱練習日時、場所：第1、第3水曜日
 午後6時～8時30分 大岡地区センター
 （学習センター向かい）
 連絡先 家田 0466-37-7545
 赤松 044-288-0655

○資格取得研究会

看護、福祉分野のキャリアアップや就職を目指す集まりです。現在、看護師を目指している方、看護学士および放送大の卒業を目指す看護師の方。医療関係、福祉関係のキャリアアップなどを目指している方で構成されています。内容は例会（情報交換）と講演会の聴講など。

これからの例会予定

- ・11月21日（日）10:00学習センター第4講義室
 - ・12月19日（日）10:00学習センター第5講義室
- 会費：¥500（1年間）

ホームページ…<http://shikaku.yumesora.net>

お問い合わせ…080-5546-7913（はこぎき）

神奈川同窓会からのお知らせ

☆創立20周年を迎えて記念行事を進めております。一つは、機関誌『波濤』40号を創立20周年記念誌として発刊します。歴代の役員の方々の20周年に寄せる思いや期待の文章、会員の投稿、20年の歩み（年表）、『波濤』各号の見出しの一覧など、編集作業が進んでおります。もう一つは、「会旗」の作成と「会員証」の発行です。同窓会旗は10月3日の卒業祝賀会で初披露されました。放送大学のシンボルマークと神奈川同窓会の文字が組み合わせられたデザインとなっております。会員証も近日発行となります。

☆神奈川学習センターから会員に『施設利用証』が発行されました。同窓会員と学習センターを結ぶ大きな力となると期待されます。

☆11月27日（土）入生田駅に10時集合 生命の星・地球博物館と松永記念館をめぐる企画行事があります。博物館では学芸員さんの展示解説と、バックヤードの特別見学をさせていただきます。さらに、「電力王」松永安左エ門の旧宅だった松永記念館を見学します。

行事・イベントのお知らせ

○公開学習会「地域に生かそう生涯学習の成果」

11月27日（土）13:00～16:00サニープレイス座間にて（右参照）



○公開講演会「地震あなただけは大丈夫？」

12月4日（土）13:30～15:00講師：青木博文 客員教授

○サークル協議会主催 公開講演会

3月6日（日）神奈川学習センター第8講義室にて（同窓会主催映画会と同日開催、詳細は次号）

学習センターからのお知らせ

◆面接授業科目の追加登録について◆

平成22年度第2学期面接授業科目の追加登録受付は下記のとおりです。（教養学部生）。追加登録の手続き方法は、「平成22年度第2学期面接授業時間割表」または「各学習センター」へお問い合わせください。

科目登録決定後に空席がある科目については、追加登録期間中に、科目の登録を追加することができます。

原則として、各科目の開講日の1週間前までに受付をしておりますので「仕事の都合が直前までわからなくて科目登録を見送った」方も、この機会を活かして面接授業にご参加ください。

<平成22年度第2学期 追加登録 日程>

空席発表日	10月16日(土)	
追加登録期間*1	10月～1月開講の授業	10月22日(金)～科目ごとに定められた追加登録受付期限日*2まで (原則として開講日の1週間前、一部例外あり*3)
	2月開講の授業	10月22日(金)～1月8日(土)まで

- *1 追加登録期間前に開講する科目については、追加登録は行っていません。
- *2 各科目の追加登録受付期限日については空席発表時に、キャンパスネットワークホームページに掲載します。追加登録受付期限日の前であっても、定員に達し次第、受付を締め切ります。
- *3 授業準備の都合上、追加登録を受付けない科目、または1週間前まで受けられない科目がありますのでご了承ください。

◆通信指導について◆

平成22年度第2学期放送授業の「通信指導」提出期間は下記のとおりです。11月5日(金)までに通信指導が届かない場合は、大学本部(043-276-5111)に連絡してください。

提出期間：11月16日(火)～12月1日(水)大学本部必着

- ※ 提出期限を過ぎて到着したものは受理できませんので、余裕をもって送付してください。
- ※ 通信指導の評価結果により、当該科目の単位認定試験の受験資格が得られます。

◆学生募集について◆

学ぶ喜びをより多くの方々に知っていただきたいと思い皆様のご家族・ご友人・知人に放送大学の魅力や利用方法をご紹介下さるようお願いいたします。（お一人ご紹介で1点プレゼントの「ご紹介キャンペーン」実施中です。）

【平成23年度第1学期入学（4月入学）の教養学部生、大学院修士選科・科目生】
募集要項配布期間：11月15日(月)～2月28日(月)
出願受付期間：11月15日(月)～2月28日(月)